令和6年度

政策1　災害レジリエンスNo.1の実現

一級河川　新堀川導水路 河川改修事業

よくわかる公共事業

事業継続中

電子データはこちら▶

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる水の量を増やします

地元の声

・台風の時などに川が溢れそうで心配だ。（地元住民）

事業前

◆大雨の時は河川の水位が上昇し、浸水被害が発生するおそれがあります。

事業前の状況

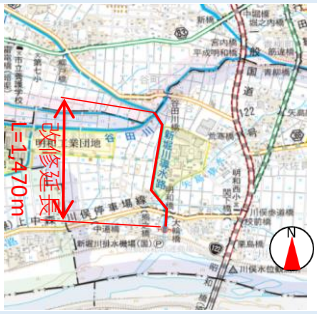
事業後

◆川幅を拡げ、流せる水の量を増やすことで、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。

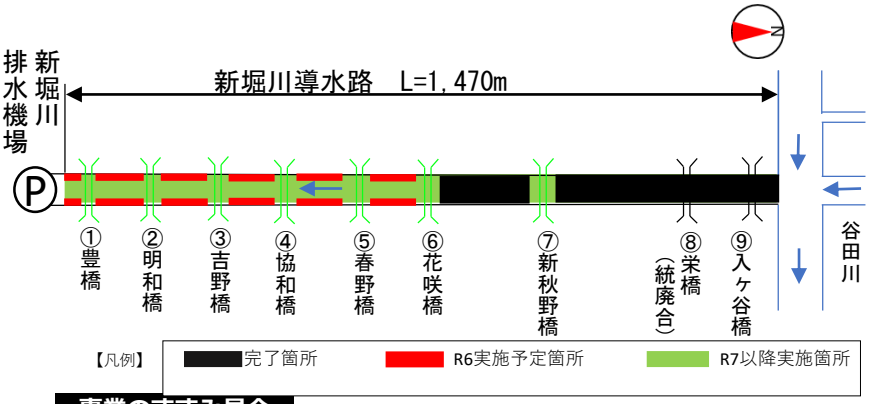
事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：明和町須賀～入ケ谷
- 事業内容：河道拡幅　延長　1,470m
- 事業期間：平成30年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和６年度は、矢板護岸工事を実施します。

事業のすすみ具合

事業開始 ●――――――――――――――――● 事業完了